

令和3年度

学校利用の手引き

宿泊用



兵庫県立 いえしま自然体験センター

兵庫県姫路市家島町西島（〒672-0100）

TEL:079-327-1508/1509

（施設利用案内は 9:00～16:00 まで、

宿直による対応は 21:00 まで）

FAX:079-327-1461

URL: <http://www.shizen-ieshima.com/>

E-mail: s-ieshima@ieshima-shizen.jp

目次

目次	1
A. 施設の概要	2
(1)成り立ち (2)教育目標 (3) 注意事項	
B. センター利用申し込み及び手順について	3
■利用申し込みの手順	
・利用の予約 ・仮受付	
・下見の予約 ・下見時に必要となる書類をセンターへ郵送	
・下見 ・各種書類の提出 ・入島日 ・滞在中 ・離島（退所）日	
C. 効果的にプログラムを作成するために	11
①食事	②入浴
③寝具の準備と片付け	④ゴミ処理について
⑤清掃	⑥宿泊施設の設備・備品と料金
⑦キャンプファイヤー	
D. 施設について	19
(1)いえしま自然体験センター全体図	
(2)各施設の平面図	
E. いえしま自然体験センターへの交通案内	24
(1)姫路港～いえしま自然体験センターへの行き方	
(2)時刻表 (3)運賃について (4)船便のご利用について注意	
(5)姫路港付近の駐車関係略図	
F. 健康・安全について	27
(1)いえしま自然体験センター「けが・病気・事故」発生時の対応マニュアル	
(2)救急医療関連連絡先一覧	
(3)地震・津波発生時の避難マニュアル	

A. 施設の概要

(1) 成り立ち

昭和54年の国連の国際児童年を記念して、南北を海に面する兵庫県の特性を生かし、瀬戸内海国立公園内の家島諸島のここ西島に、自然の中で親と子が心身ともに健やかに育ち、すべての生命の母である海と人が出会う場として、野外活動施設「兵庫県立母と子の島」が建設されました。

開設以来25年を経過した施設のリニューアルを機会に、「環境学習センター」等を新設し、「海の環境学習の拠点」としての機能を強化しました。小・中学生、高校生、大学生の環境学習・自然体験活動のフィールドとして、社会人の実践研修の場として、また幼児期から家族一緒に楽しむ施設として生まれ変わり、平成19年4月に現在の名称である「兵庫県立いえしま自然体験センター」と改めました。



(1) 位置 兵庫県姫路市家島町西島

(2) 敷地	西島（坊勢財産区より）	1,007,027 m ²
	県有地	8,687 m ²
	松島（姫路市・宮財産区より）	332,455 m ²
	計	1,348,169 m ² 【約135ha】

※甲子園球場のグラウンド103個分の広さに相当

(2) 教育目標

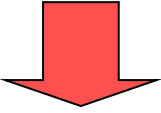
- ① 自然界のさまざまな生き物との関わりを通して、生命を大切にする心を育む
- ② 自然との触れ合いを通して、自然や自然の美しさに感動する素直で柔らかな心を養う
- ③ 仲間との活動などを通して、規範意識や他人を思いやる心、自己抑制力を身につける
- ④ 集団生活やグループ活動を通して、我慢する心（耐性）、自立心、協力する力を養う
- ⑤ 自然環境での活動を通して、健やかな身体と物事を着実にやり抜く意思・主体性を育む

(3) 注意事項

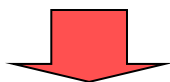
- ① 施設、設備及び備品は大勢の人が利用するものです。大切に扱ってください。
万一、故意若しくは重過失により損傷した場合は損害賠償していただくことがあります。
- ② 利用後は会場(場所)や設備、備品の整理整頓や清掃を丁寧に行ってください。
- ③ 使い終えた備品は必ず元の場所に戻してください。

B. センターの利用申し込み及び手続きの手順

■【利用申し込みの手順】

利用の予約	電話にてご予約ください(079-327-1508 / 1509)						
	<table border="1" data-bbox="539 378 1455 517"><tr><td>小学校(自然学校)</td><td>受付開始は2年前から(年度で)</td></tr><tr><td>中学校・その他の団体</td><td>受付開始は1年前から(年度で)</td></tr><tr><td>日帰り利用</td><td>受付開始は1年前から(年度で)</td></tr></table> <p>□希望する利用予定日(期間)、行事内容、人数等をお知らせ下さい。 ※日帰り利用校と宿泊利用校の活動内容が重なった場合、宿泊利用校の活動を優先します。</p>	小学校(自然学校)	受付開始は2年前から(年度で)	中学校・その他の団体	受付開始は1年前から(年度で)	日帰り利用	受付開始は1年前から(年度で)
小学校(自然学校)	受付開始は2年前から(年度で)						
中学校・その他の団体	受付開始は1年前から(年度で)						
日帰り利用	受付開始は1年前から(年度で)						
仮受付	<p>電話受付により仮予約完了となります。</p> <p>□電話受付後、以下の①～③の資料・用紙を「いえしま自然体験センターホームページ」よりダウンロードしてください。</p> <p>①「下見打ち合わせ表」 ②「学校利用の手引き・申請書類関係」 ※下見時にご持参ください。</p>						
下見の予約	<p>実施前に当施設の下見を行うことをお勧めします。</p> <p>○下見の予定日と船便の時刻を決めて、ご連絡ください。 ※対応できない日がありますのでご了承ください。</p> <p>○下見は活動計画の確認、プログラム相談、施設や活動場所などの確認を行います。</p>						
下見時に必要となる書類をセンターへ郵送	<p>下見3日前までに「下見打ち合わせ表」をお送りください。</p> <table border="1" data-bbox="544 1496 1492 1715"><tr><td>【郵送先】 〒672-0100 兵庫県姫路市家島町西島 いえしま自然体験センター 学校担当者 宛</td></tr><tr><td>【FAX】 (079-327-1461)</td></tr></table> <p>○下見予定日、予定日の船便等の急な変更が必要な場合、必ず当施設へ連絡してください。 ※船便手配は、当施設から船会社に連絡します。</p>	【郵送先】 〒672-0100 兵庫県姫路市家島町西島 いえしま自然体験センター 学校担当者 宛	【FAX】 (079-327-1461)				
【郵送先】 〒672-0100 兵庫県姫路市家島町西島 いえしま自然体験センター 学校担当者 宛							
【FAX】 (079-327-1461)							

下見



姫路港からいえしま自然体験センター行きの定期船にご乗船ください。坊勢島で乗り換えがありますのでご注意ください。
※切符は坊勢までといえしま自然体験センターまでの 2 枚をご購入ください。

□ 棧橋から中央地区事務所まで山道を 20 分ほど歩いていただきます。舗装されていますが山道でアップダウンがあります(右写真)。動きやすい服装と靴でお越し下さい。

□ 売店等はありません。昼食が必要な場合はお弁当をご持参ください。

※窓口で飲料は販売しています。(お水・お茶・ジュース類等)

■ 下見のおおまかな流れは以下の通りです。

① センター事務所に到着後、下見の代表者の方は窓口で入島の手続きをしてください。※入島料はお一人様 200 円です。

② 担当者と対面、打ち合わせへ

1. 事前に提出されている「下見打ち合わせ表」をもとに日程確認をします。

→2. 日程のあらすじに即した施設・設備案内と体験プログラムの場所を確認します。

→3. 施設・設備を確認後、プログラムの内容の検討・相談を行います。

→4. 今後の手続きに必要な書類(申請書類)等を確認させていただきます。

※HP よりダウンロード可能です。

→5. 質疑応答/解散

※多くの学校様は午前 10 時頃の便で姫路港を出発、打ち合わせの後昼食をとられ、フィールドの見学をすませて、13 時~14 時頃の船便で姫路港に帰られています。

□ 特別に配慮が必要な児童・生徒のご利用がある場合、下見時にご相談ください。



各種書類の提出



■ 1ヶ月前迄に提出する書類(センターへ郵送してください)

① 利用申請書

○ 日程・人数等、記入段階でわかる範囲でお書きください。

② 利用者名簿

○ 利用者名簿には指導者(教員)、指導補助員、救急員等の方もご記入ください。

○ 学校の児童・生徒の場合、学級名簿をそのまま提出していただいても結構です。

③ 食事申込書

○ 学校利用の場合、当日やむを得ず欠席者が出た場合の食数変更は可能です。

○ 自炊の場合は「間食・夜食・野外炊事等申込書」と合わせてご記入ください。

④ アレルギー(食物等)に関する調査

⑤ 間食・夜食・野外炊事等申込書

⑥ 販売品・有料アクティビティ・無料貸出備品申込書

⑦ 体験活動プログラム(2枚。引率者用のしおりをこれに代えることが可能です。)

○ 通常のプログラムと荒天用のプログラムを必ずお書きください。

⑧ 部屋割り表(ロッジ用・テント用)

○ 「利用申請書」の部屋数と部屋割りの数が合うように記入してください。

⑨ 船便予約表

○ センターを利用する期間すべての入退島者(交替等も含めて)の便をご記入ください。

○ チャーター船利用の場合は、**船会社名、出発港、出発時刻**を明記してください。

■1 週間前までに提出する書類

※作成できている場合は 1 か月前までの書類に同封ください。

⑩カヌー・カヤック活動実施届(FAXでも可)

⑪人員搬送及び資材運搬依頼届(FAXでも可)

○棧橋から中央地区までの行程を、徒歩で困難な方のために車を手配いたします。
介助者の有無も含めて必要事項に記入してください。

○団体資材のみ車による運搬を行います。具体的な量等、必要事項を記入してください。
※指導者の方を含め、個人の荷物を団体資材として運搬することは出来ません。

■入島日当日(第1日目)に事務所窓口で直接提出

⑫「施設利用人員報告書・諸経費の支払いについて」は入島日にご持参ください。

入島日(初日)

(入島から 16:00 のミーティングまでの流れ)

入島まで(港まで)

【荒天時の判断】

○入島が不可能と判断される場合のタイミングについて

- ・前日の 16 時 30 分(宿泊をとまなう入所の場合のみ)
- ・当日の 6 時 00 分(宿泊をとまなう入所の場合、日帰り利用の場合)

○状況確認等が必要な場合はお電話ください。

○入島が不可能と判断される判断基準について

- ・暴風雨/大雨/洪水警報等の警報が姫路市若しくは出発地に発令されている場合
- ・定期船及びチャーター船が天候等で欠航になった場合
- ・天候等により海洋体験プログラム(カヌー・カヤック)が不可能と判断される場合
(日帰り利用の場合のみ適用されます)

入島まで(港)

【出港】

○港への到着が事故等で遅れた場合、資材運搬や人員搬送が入島日当日に急に必要になった場合はセンターにご連絡ください。

○**チャーター船利用の場合**は出発地の港を出る前にセンターにご連絡ください。

【センター(ラゴ)棧橋到着】

○忘れ物確認、人員確認を行い、中央地区まで徒歩移動します。

○団体共通利用の資材がある場合は資材車に積み込んでください。

○団体共通利用の資材・備品の船からの荷下ろしとセンターの車両への積載は、学校で行ってください。

○荷物管理として資材者に引率者 1 名同乗していただきます。

○近年、先生方の個人用の荷物を学校用の資材として積載される場面をお見受けしますが、**個人用荷物の運搬についてはお断りしております。体調不良、妊娠、疾患等で配慮が必要な方の個人用荷物は、職員に事情を説明して許可を得て積載してください。**

約 20 分の歩行が困難な方は、お車で宿泊エリアまでお送りいたします。

○棧橋付近で整列、点呼される場合は、通過する車両の運行にご協力ください。

入島日(初日)のつづき

(入島から 16:00 のミーティングまでの流れ)

【センター中央地区到着】

- 依頼された資材・備品は野外炊飯棟又はロッジ近くに一か所にかためて置きます。
- 弁当や食料関係については中央地区到着後すみやかにお受け取りください。
- 中央地区に到着後に入所式を行います。
 - 野外炊飯棟に荷物を置き、芝生広場に集合してください。
 - ※ 荒天時には野外炊飯棟で入所式をします。
 - ※ 複数の団体が同時に入島される場合には、時間と場所を調整します。

【入所式】について

- 入所式は必ず実施してください。
 - 司会進行は各学校側でお願いします。
 - 入所式の流れ、隊形等は各学校で決定してください。
- **入所式のプログラムの中に必ず以下の時間を設定してください。**
 - ① 「いえしま自然体験センター所長からのあいさつ(約3分)」
 - ② 「センター担当職員による施設利用に関するオリエンテーション(約5分)」
- マイク・デッキが必要な場合には事前に担当者にお申し出ください。
- 校旗、学級旗等の掲揚を希望される場合は掲揚ポールをご利用ください。国旗、県旗以外の掲揚柱3本がご利用いただけます。

【入所式の終了後】

- **入所式が終わり、児童・生徒への指示が終わりましたら、事務所窓口にて入所の諸手続きを行います。**
 - 管理棟(本館)事務所の窓口にて「施設利用人員報告書」、「諸経費の支払いについて」の用紙2枚をご提出ください。
- シーツ、枕カバー、(寝袋(シュラフ)は春夏秋冬のみ)の全員分を一括して管理棟(本館)のオリエンテーションルームで引き渡します。
 - シーツ、枕カバー等のクラスや班の人数分の分配は各学校でお願いします。
- **養護教諭もしくは看護師の方に「センターの救急案内」のファイルをお渡ししますので、必ずご一読ください。**
 - 万が一の時の事故の対応マニュアル、センターから最寄の病院連絡先の一覧、活動対象地域のリスクマップ、センター周辺の危険な動植物について等の必要な情報がまとめられています。
 - **ファイルにはセンター滞在中に起きた事故や怪我について記録していただく保健日誌も挟んであります。**
 - 必ずご記入いただき、退所される時にセンターの担当者へご返却ください。**
- 給茶用のお茶をつくられる場合は、食堂の給湯機をご利用ください。
- ロッジの鍵は各学校の代表(窓口になっておられる先生)の方に一括してお渡しします。受領後は各学校できちんと管理してください。

【ロッジの入室について】

- ロッジには 14 時 00 分以降に入室できます。 それまでの荷物、食材の管理は各団体で責任をもってして下さい。
 - 腐りやすい食材や弁当等は共同冷蔵庫をご利用ください(共同冷蔵庫は 11 時 00 分から使用できます)
 - 前泊者がいない場合のみ 14 時 00 分より前に入室できることもあります。
- ロッジの鍵は入室時のみ使用します。 退出時は玄関扉の内側ノブの突起部分を押し、扉を閉めると鍵がかかるようになっています。
- ロッジ内のインターホンは火災、急病等の非常時における管理棟(本館)の事務所との連絡用です。 それ以外の使用はしないでください。

【16 時 00 分】

- センターに滞在される期間は毎日 16 時 00 分にミーティングを実施します。
 - 必ずセンターとの窓口となっている方(連絡調整担当)はお越してください。
- ミーティングの内容は以下の通りです。
 - 各団体の出席確認
 - 天候(天候、潮の満ち引き、波の高さ、風の強さ等)概況の確認
 - 各団体の健康観察の報告→要観察者の有無、活動中の事故等の有無の確認
 - 各団体の 16:00 以降のスケジュール確認、食数変更の確認
 - その他(質疑応答)
- 複数の学校利用の場合は、入浴や食事の時間等の最終の確認、微調整を行います。ミーティング終了後、引き続き利用団体同士で以下の項目の確認と割り振りを決めてください。
 - 入浴、食堂の時間の確認
 - 毎日の掃除(食堂・浴室)の当番団体決め
 - 最終日の美化活動(大掃除)の清掃場所の団体分担決め

【20 時 00 分】

- 自炊で使用した用具の返却は 20:00 以降には受け付けません。
明朝 8:30 以降に返却して下さい。

【21 時 00 分】

- ロッジ以外の施設の利用時間(管理棟等)や、物品販売は 21:00 までです。
21:00 には出入り口、玄関は施錠します。

【22 時 00 分】

- 団体指導者の入浴は原則 23:00 までです。
交代で入浴し、23時には浴室を施錠できるようにご協力ください。
- 各団体の打ち合わせ等で管理棟内、会議室、学習センター、多目的室を21:00以降に使用される場合には、22:00までに全てを終えてください。

滞在中(離島日前日含む)

【起床】

- 「朝のつどい」等を予定する場合には晴天時は芝生広場を、雨天時は野外炊飯棟をご利用ください。
- 各団体でロッジ内の整理・整頓、ゴミの処理を行ってください。

【朝食】

- 毎朝 7 時 30 分に食堂が開きます。
同時に食堂が開くことを知らせるために右の写真の鐘を鳴らします。



【8時30分】

- 午前のプログラムの準備にかかってください。
- 午前中に海洋体験を予定する団体は以下の手順をお願いします。
 - 集合前にトイレをきちんと済ませる**ように指導してください。
※集合後にトイレの時間をとることは、プログラムの時間の確保の点からも望ましいことではありません。ご協力をお願いします。
 - 熱中症の予防のためにきちんと水分をとって**ください。
 - 持ち物に忘れ物がないことを確認する。
(水筒、弁当、タオル、帽子、軍手、薬など、その他活動に必要なもの)
 - ※**帽子は熱中症予防に必須です。各団体で必ず帽子を被るように指導してください。**
帽子は、①陰ができるものが多い方が望ましく、②海上は風が強いので、ゴムなどでとめられる方が望ましいです。

【9時00分】

- 午前のプログラムを開始してください。
- 海洋体験プログラムを予定している団体は以下の手順をお願いします。
 - 海洋体験活動(カヌー・カヤック)をされる団体は、艇庫の浜側の石段(右の写真の黄線の部分)に海に向かって(矢印の方向に向かって)整列、点呼を終了させて職員をお待ちください。
 - 海洋体験活動(筏づくり)をされる団体は、食堂前の広場に食堂側を向いて整列、点呼を終了させて職員をお待ちください。



【昼食】

- 12 時 00 分に食堂が開きます。
- 弁当は 11:30 以降の指定した時間に弁当が食堂の入り口の机の上に準備されます。各団体で指定した時間に取りに来てください。
 - テント地区への弁当配送を希望された団体は、希望された時間に配達いたします。
 - テント地区への弁当の配送を希望された団体は、以下の手順を守ってください。
 - ①弁当を受け取っては、日差しや気温、カラス等に注意して管理してください。
 - ②生ゴミは生ゴミ用のバケツに直接入れてください。
 - ③弁当からは水ですすいで容れ物とふたをまとめてビニール袋に入れてください。
- 食堂は 13 時 00 分に閉めます。13 時 00 分までに退室してください。

【13時00分】

- 午後のプログラムを開始してください。

【16時00分】

- 初日と同様のミーティングを実施します。
- 退島日前日のミーティング時には、団体の会計担当者も同席してください。

以下の流れは、前日と同じです

【入浴】

- 他の利用者に不快感を与えないようにルールを守ってお入りください。
- 入浴の時間をきちんと守り、**脱衣場が水浸しにならないように指導してください。**

【夕食】

- 18時00分に食堂が開きます。
- 19時00分には食堂を閉めます。19時までには退室してください。

【自炊、夜の体験や学習活動、キャンプファイヤー等の終了後】

- 施設内の照明は安全に必要な最低限の照明になっております。
活動時には必ず懐中電灯を携行され、安全を最大限に配慮した上で活動してください。
- 自炊・キャンプファイヤー・キャンドルサービス等で使用した「火」の後始末は、団体が責任を持って消火し、指示された後始末を必ず実施してください。
- 自炊・キャンプファイヤー・キャンドルサービス等の「火」を使用した活動をすべて終了した団体責任者は、管理棟(本館)事務所へ「終了」した旨を報告してください。**
- 野外炊飯棟の照明は21時00分に消灯します。**

【就寝準備及び就寝後】

- 21時00分以降は、管理棟(本館)の玄関を原則施錠します。
翌朝7時30分以降に管理棟(本館)の窓口対応を再開いたします。
- 急病等で21時00分～翌日7時30分までの間であっても、宿直職員に連絡を
とりたい場合には管理棟(本館)の正面玄関にある「インターホン」でお話ください。
「インターホン」は宿直室と直接お話しできます。**

離島(退所)日

最終日の離島までの動き

【起床】

- 使用したマットや毛布はたたみ、整理してください。
- 貸し出された寝具は右図の位置の袋に入れてください。

【シュラフ、シーツ・枕カバーの返却】

- 朝食前からロッジ退出までに済ませてください。
 - シュラフはオリエンテーションルームの机上に中身を出し、重ねて置いてください。



台車上の袋に入れてください

- シーツ・枕カバーは管理棟の台車の上の袋の中に入れてください。

朝食前にシュラフ、シーツ・枕カバーを返却することをお勧めします。

【施設・ロッジ内の大掃除及び整理・整頓】

- 団体が退所される日には必ず団体による大掃除をお願いします。
 - 清掃のやり方は「利用の手引き」を参考にしてください。
 - 給茶用の「やかん」もきちんと洗ってご返却ください。

【ロッジの退出について】

- ロッジのチェックアウトは10時00分までに済ませてください。**
 - 時間に遅れないようにお願いします。
 - ロッジ内の整理・整頓をきちんと済ませてください。
 - 持ち込んだゴミや活動中に持ったゴミは分別して、所定の場所に捨ててください。
- ロッジの鍵をご返却ください。
 - 退所時はロッジの鍵は開けておいてください。

【退所の手続き】

- 退島2時間前に会計担当の方は、事務所で「請求書」をお受け取りください。**

【退所式】

- 退所式の準備ができましたら、管理棟(本館)の事務所へご連絡ください。
- 荒天時には野外炊飯棟、食堂テラス等で退所式を実施します。
- 養護教諭もしくは看護師の方にお渡ししている「救急案内」をご返却下さい。

【退所式について】

- 司会進行は各学校でお願いします。
- 退所式の流れ、隊形等は各学校で決定してください。
 - ※「センター所長からのあいさつ(約3分)」の時間を確保してください。
- マイク・デッキ等が必要な場合には事前に担当者にお申し出ください。

- チェックアウト後の荷物や団体資材・備品は各団体で責任をもって管理してください。**

【中央地区からセンター(ヲラゴ)棧橋へ】

- 団体資材の運搬及び体調不良の方の搬送は、職員の指定した車両に積載してください。
 - 個人用荷物の積載、運搬については原則としてお断りしております。**
- 海岸で遊び、靴が汚れたまま船に乗船して困る**、という苦情が寄せられています。
 - 「公共のマナー」を各団体でもご指導ください。

C. 効果的にプログラムを作成するために

①食事

当施設の食事は、完全予約制の食堂利用か、自炊のいずれかのご利用になります。

当センターの定食は食材を吟味し、添加物の少ない・無着色のものを使用し、すべて手作りの心身にやさしい食事です。手作りの為、食品アレルギー等にも柔軟に対応可能です。

食堂利用の料金（一人あたり）		自炊食材セット料金（一人あたり）	
食 事	料 金	セット名	料 金
朝食	500円	カレーセット	350円
昼食	600円	焼きそばセット	400円
夕食	900円	鉄板焼きセット	600円
		バーベキューセット	800円
合計	2,000円	カートンドッグセット	200円

セット食材にお米は含まれておりません。

■自炊食材のセット内容(見本)

①カレーセット	②焼きそばセット	③鉄板焼きセット
		
1人前 350円	1人前 400円	1人前 600円
牛肉(ばら肉) (50g) じゃがいも (80g) にんじん (50g) たまねぎ (60g) カレールー (50g) 福神漬 (20g) サラダ油 (適量)	豚肉 (50g) キャベツ (80g) にんじん (10g) ピーマン (10g) ねぎ (5g) そば (1玉) 粉末ソース (1袋) 牛脂 (1個)	牛肉(ばら肉) (100g) 豚肉(ばら肉) (50g) ソーセージ (1本) キャベツ (100g) コーン (1切れ) ピーマン (半分) 人参 (20g) タマネギ (40g) タレ・油等 (適量)
④カートンドッグセット	⑤おにぎりセット	⑥バーベキューセット
		
1人前 200円	1人前 250円	1人前 800円
ホットドッグパン (1本) ソーセージ (1本) スティックケチャップ (1本) キャベツ (30g) 調理用牛乳パックは持参ください。	おにぎり (2個) おかず (1品) 味付け海苔 (1袋) ※おにぎり(1個100円)	牛肉 (100g) イカ・エビ (各1切) ソーセージ (1本) キャベツ (80g) コーン (1個) タマネギ (40g) しいたけ (半分) ピーマン (半分) タレ・油

《注意》

- **食事申込は、提出書類（「食事申し込み表」と「アレルギー調査表」）をご記入の上1ヶ月前までにお申し込みください。**
- **アレルギーの変更食対応は、調査表にもとづいて行いますが、ショック症状をとともなう激しいアレルギー反応がある場合、必ずセンターの食堂にご相談ください。センターで対応できないこともあります。**
- **食事数の変更、取り消しは前日のミーティング(16:00)で最終確認をしますが、3食以上の食数変更、食堂利用時間の変更等は必ずお申出ください。**
- **自炊食材のセットに「お米」は含まれておりません。**
1合80円でご購入いただくか、ご持参ください。

- 「おにぎり」を1個100円 ①
でご用意することもできます。
(※事前要予約)



- **朝食についてはパン食(右①)・米食(右②)が選択できます。**
(※複数団体のご利用がある場合には調整します)

- 昼食はお弁当にすることもできます。(※事前要予約)
- お持ち込みになった食材等を保管するための共同冷蔵庫(右写真)が食堂横に設置してあります。
- 注文販売も可能です。詳しくはお問い合わせください。
以下に食材購入可能食材例をお知らせします。



食材購入可能食材(例) **共同冷蔵庫**→

肉類	野菜(個数単位)	果物(個数単位)	調味料(業務用)
※牛バラ スライス	キャベツ	りんご	※マヨネーズ
※焼き肉用一牛肉	じゃがいも	オレンジ	※砂糖
※豚バラ スライス	にんじん	グレープフルーツ	※みそ
※鶏もも肉(30gカット)	タマネギ	※バナナ	※塩
※は1kg単位の注文のみ受付	ピーマン	※バナナは火(夕方)～水金(夕方)～土のみ購入可能	※は1kg単位の注文のみ受付
☆ソーセージ	大根		☆しょうゆ
	キュウリ		☆みりん
	白菜		☆は1.8kg単位での注文のみ受付
	生しいたけ		

予約販売食材と料金

品名	販売価格	品名	販売価格
クロワッサン(1個)	100円	オレンジジュース(パック)(200ml)	160円
おにぎり	100円	アップルジュース(パック)(200ml)	160円
米(1合)	80円	お茶(500ml)	160円
ミネラルウォーター(500ml)	160円	牛乳(200ml)	110円
スポーツ飲料(500ml)	160円		

※料金などは場合により変更することがあります。
※このほかにも購入可能な食材があります。詳細はお問い合わせください。

■ 食堂の利用について

□ 利用できる時間

- 朝食 7:30～ 8:30
- 昼食 12:00～13:00
- 夕食 18:00～19:00

※上記の時間以外の食堂の利用(レクリエーション・学年集会等)は衛生管理上できません。

※時間内に入室から退室までを済ませてください。

※持参弁当・夜食・間食は野外炊飯棟でお願いします。



↑ 食堂入り口

○複数団体が一緒に食堂を利用する場合にはお互いに譲り合ってください。

○給茶用の給湯器のご利用は、食堂の利用時間を避けてください。

○手荷物等は衛生上から持ち込まないでください。

○水着やぬれたままの服装、靴での食堂利用はお断りします。

○海洋体験活動により中央地区以外で食事をする場合は、弁当を配達することができます。**配達時間は11時30分以降になります。**

□ 食堂から団体引率者へのお願い

○食堂内で他団体と利用が重なっている場合、食堂内での参加者への指導や食前の歌などを十分に配慮してください。

□ 食堂利用後の清掃

食堂を利用した団体は毎食後、食堂内の清掃活動をしてください。

○使用した机の上をふきんで拭いてください。

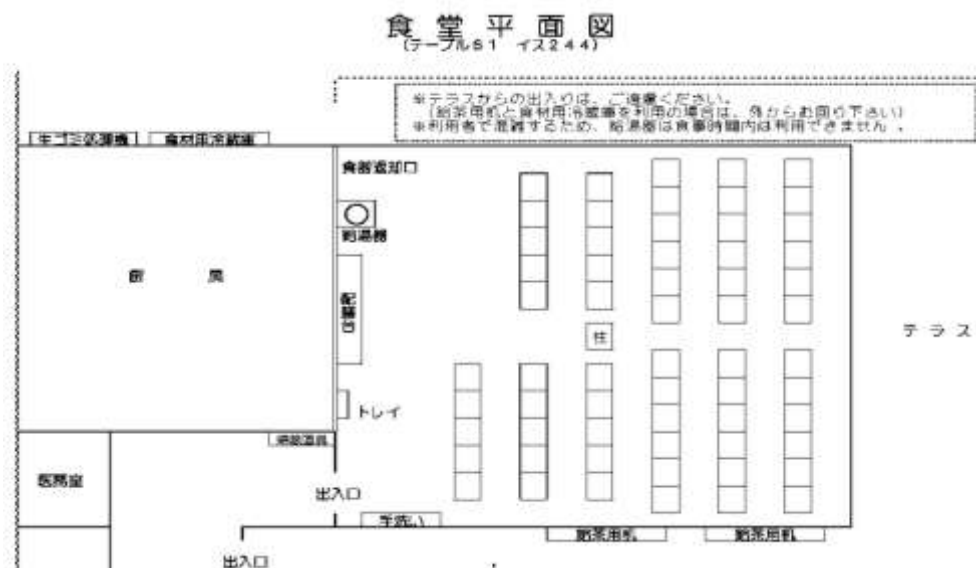
(備え付けのものをご利用ください)

○食堂入口にある清掃道具箱の清掃道具を使い使用した場所の床を掃除します。

※ほうきで掃き、ゴミを拾う。泥や水などでぬれている場合はモップで拭きます。

※複数の団体が利用している場合、利用団体同士で話し合い、決めてください。

■ 食堂平面図



②入浴

□入浴時間

- 入浴は16:00～21:00までできます。
- 21:00**にはボイラーを停止します。
- 複数の利用がある場合には、各団体の時間を指定することがあります。
- ※荒天等により海洋体験活動に急な変更があった場合、

入浴時間に変更をお願いすることがあります。



大浴室(シャワーエリア)

- 大浴場を女性が、中浴場を男性が使用します。
- ※中浴場は浴槽が大きく、大人6～8人程度が入れます。シャワー7
- ※大浴場は浴槽が小さく、大人3～4人程度が入れます。シャワー15
- 大浴室(女性用)の着替えロッカーのボックスは全部で32あります。
- 中浴室(男性用)の着替えロッカーのボックスは全部で24あります。

<p>中浴場(男性用)</p>	<p>大浴場(女性用)</p>	<p>販売名 ミヨシMFシャンプー 【使い方】髪を洗ってから湯洗を全体に行なって、やさしく泡立てた後よくすすいでください。【ご注意】敏感な肌、湿疹等異常がある時は使わないでください。髪や皮膚の異常が現れた場合は使用を中止し、異常等に相談してください。●目に入った時はすぐに水で洗い流してください。●パーマやヘアカラーが落ちやすくなる場合があります。</p> <p>生産国/水、カリウムイオン ミヨシ石鹸株式会社 〒100-0021 東京都千代田区千代田3-1-1 TEL:03-5561-3000 E-MAIL:MIYOSHI@MIYOSHI-SOAP.CO.JP MADE IN JAPAN</p> <p>ミヨシ石鹸 QRコード</p> <p>ミヨシ石鹸 https://miyoshisoap.co.jp/</p>
		<p>シャンプー・リンス</p>
<p>中浴場(男性用)脱衣場</p>	<p>大浴場(女性用)脱衣場</p>	

□入浴時の注意

○ボディソープ、シャンプー等はセンターで購入するか、各団体でご準備ください。

海洋汚染を防ぐため、合成石けんの使用を制限しています。

※センターの石けんシャンプー・リンスは弱アルカリ性のために染色されていたり、パーマ等で髪が傷んでいる場合、色落ち等がおきる可能性があります。肌が敏感な方や髪質等に特徴がある方がいる場合には必ずセンターにご相談ください。

※シャンプー・リンス 各500ml → 650円
せっけんボディソープ 500ml → 550円

詰め替えタイプですので、空ボトルは返却してください。

- 各校の指導者の方は、浴室でのマナー等をきちんと指導してください。
- かけ湯をしてから浴槽に入ってください。
- 浴室を出る際には、しっかり体を拭いてから脱衣所へ入ってください。
- 利用後、**浴室と脱衣所の状況や忘れ物の最終確認をしてください。**
- 浴場のイスや風呂桶は、各校で責任をもって所定の場所に戻してください。

③寝具の準備と片付け

不特定の方に同じものをお使いいただくものがセンターにはあります。その中で最も長時間にわたってご利用いただくのが寝具です。

センターではロッジ・テントでの楽しく快適な夜を過ごしていただきたいと考えております。そのためには、利用者の部屋の整理・整頓、寝具の使い方や片付け方がきちんとしていないと利用者の皆様にご満足いただく事はできません。「家では布団なのでシュラフなんて知らない」、「毛布にたたみ方があるの?」という声をお聞きしますが、次の利用者のために寝具を丁寧にたたむことによって、次に使う人へ「思いやりのバトン」を手渡して欲しいと思います。

各季節によりご利用になる寝具が変わります。また、個人の体調により寝具を調整することもできます。利用期間中に体調を崩すことがないように体をしっかりと休めてください。

□センターで使用する寝具一覧

各ロッジに常備されている寝具類		マットレス、毛布、枕
入所時に渡される寝具類	ロッジ地区	(袋状の)シーツ、枕カバー(宿泊者から一律 250 円を徴収) シュラフ(無料貸し出し)
	テント地区	(袋状の)シーツ(宿泊者から一律 250 円を徴収) 毛布、シュラフ(無料貸し出し)

■シーツ、枕カバー、シュラフの利用者の引き渡しについて

□シーツ、枕カバー、(寝袋(シュラフ)は春夏秋冬のみ)の全員分を一括して管理棟(本館)のオリエンテーションルームで引き渡します。

※右の図の黄色の点線のあたりに学校ごとにかためて置かれます。

※シーツ、枕カバー等の学校ごとの区分(クラスや班の人数分)ごとの分配は、各学校でお願いします。



↑ **オリエンテーションルーム**

■シーツ、枕カバーの使用について

□シーツ、枕カバーは必ず装着し、睡眠時に使用してください。

黄色の点線部付近にシーツ・枕カバーが置かれます。

④ゴミ処理について

□センターにおいて活動中に出たゴミは、以下に示す。処分の仕方、分別の仕方を守り、各団体で責任をもって処理してください。

※当センターは環境教育を推奨する施設であり、利用者の皆さんに環境との共生を考えるきっかけを考える施設です。分別してリサイクル(再資源化)にご協力ください。

ゴミステーション→



⑤清掃

団体でご利用になった場合、宿泊研修(自然学校)の最終日にはセンターの清掃をお願いします。
 清掃をお願いする場所及びやり方は以下の通りです。**来た時よりも美しくお互いに協力しあって『思いやりの「バトン」』を次の学校にお渡しください。**

下記の点検リストにもとづいて各校での指導をお願い致します。

※複数校の利用があり、最終日が同じ場合、共有場所の清掃については入島日の16:00のミーティングの終了後、各校の代表同士で調整をお願いします。

※すべてを掃除するのが難しい小規模校の場合は出来る範囲で行ってください。

【毎日の掃除】

●**食堂**→食堂利用後に各団体で行ってください。

○掃除方法は前項「食堂利用について」を参照ください。

●**浴室**→浴室を利用された団体は次の日の朝に清掃をしてください。

※浴室利用の団体が複数の場合、団体間相互に分担の割り振りを決めてください。

○いす・おけの整理・整頓

○脱衣場の掃き掃除(電気掃除機をかける)

○脱衣場の床がぬれている時は、雑巾で拭いてください。

○出入り口付近の掃き掃除

【大掃除】

□清掃場所・清掃道具保管場所・清掃分担団体名一覧表

	清掃場所・区域	清掃道具保管場所	清掃責任団体名	
必須	各ロッジ	各ロッジ内		
	管理棟(本館)浴室	男	浴室入り口付近	
		女	脱衣場奥	
	管理棟(本館)ホール・廊下	窓口に申し出てください		
	オリエンテーションルーム 会議室	窓口に申し出てください		
	管理棟(本館)トイレ	女子トイレ手前の管理庫		
選択	食堂	食堂入り口付近		
	野外炊飯棟	ゴミステーション裏側		
	芝生広場	窓口に申し出てください		
	浜辺	窓口に申し出てください		
	環境学習センター	多目的室前の倉庫		

※清掃場所・区域のうち、青色で着色されている場所・区域は雑巾があれば便利です。
 (雑巾の貸出しは基本的にしていません。)

⑥宿泊施設の設備・備品と料金

当施設での宿泊は、中央地区ではロッジ、野外活動地区ではテントとなります。
赤字は学校利用に限った宿泊定員です。

<p>【Aロッジ(10人用)】 … 7棟</p> <p>○収容可能人員 最大105人 (15人×7棟)</p> <p>○使用料(1泊1棟)</p> <p>平日 6,700円 休前日 8,400円</p>
<p>【Bロッジ(6人用)】 … 7棟</p> <p>○収容可能人員 最大49人 (7人×7棟)</p> <p>○使用料(1泊1棟)</p> <p>平日 4,200円 休前日 5,250円</p>
<p>【Cロッジ(7人用)】 … 15室</p> <p>○収容可能人員 最大120人 (8人×15室)</p> <p>○使用料(1泊1室)</p> <p>平日 2,900円 休前日 3,650円</p>
<p>★学校行事(幼/小/中/高)での ご利用の場合は、減免措置により 利用料が半額になります。 表示価格は減免後の額です。</p>

<p>【4人用常設テント】 … 25張</p> <p>○収容可能人員(最大)100人(4人×25張)</p> <p>○使用料(1泊1張) 800円</p>
<p>【8人用常設テント】 … 7張</p> <p>○収容可能人員(最大)56人(8人×7張)</p> <p>○使用料(1泊1張) 1,700円</p>

宿泊設備・備品について

※ロッジに備え付けているもの

- ・冷蔵庫 ・マット ・毛布 ・枕 ・安全蚊取り器
- ・非常灯 ・掃除機 ・ほうき ・ちりとり
- ・簡易ベッド(ABロッジのみ)
- ・茶器セット(指導者が利用するロッジのみ)

《夏季》 ・扇風機
《冬季》 ・ファンヒーター ・こたつ(Aロッジのみ)

※ ~~~~~ は、外すことが可能な壁です。外して使用された時は、チェックアウト時に元に戻してください。

※C-2には、身障者用トイレを備えています。

※各ロッジのインターホンは、事務所とつながっています。緊急時のみお使いください。

【注意】宿泊利用時はシーツリネン費(1人1枚)250円が別途必要です。



⑦キャンプファイヤー

○楽しく思い出深いキャンプファイヤーにするには安全の配慮も必要です。

当施設には消防機関がないため、火の扱いは他の施設よりも厳格に行っております。

【事前申し込み】

○キャンプファイヤーをお考えの場合は実施したい日時を日程表に記入してください。

○複数団体がファイヤー実施希望の場合は、日時を変更していただく場合があります。

※調整ができない場合には、別のエリアをご利用いただくことになります。

※人数が多数の方に中央地区、少人数の団体に別エリアをお使いいただきます。

【活動中の留意点】

○火の取り扱いには十分気をつけてください。

○**強風・雨の場合は実施していただくことはできません。**

※ファイヤー開始後でも風力が増すようであれば中止していただくことがあります。

※マジックファイヤーのような点火方法は事前に実施可能か確認してください。

※開始前に消火用バケツを準備してください。

【キャンプファイヤーの準備】

■準備

●16:00までにファイヤーの薪が右図のように食堂下の一輪車の上に準備されます。

各団体でファイヤープレースに薪を組むようにしてください。

○薪 太い薪…14本 薪…一輪車に一盛り

●準備物

○トーチ…各団体でご準備ください。

○防火用のバケツ（貸出可能）

○各団体が独自に使用する機器

■キャンプファイヤー30分前になったら…

●実施の可否の判断

○担当職員がファイヤー実施の可否を判断します。担当者は事務所へ来てください。

○ファイヤー不可の場合は、野外炊飯棟・艇庫等で代替プログラムは実施可能です。

※食堂内は衛生上ご利用いただくことができません。

●実施可能と判断された場合

○**事務所窓口で、灯油セットをお渡しします。**※灯油は1㍗。（追加は1㍗100円）

○灯油は各団体で責任をもって管理し、容器は終了後に返却してください。

【キャンプファイヤー終了後】

■後片づけ

○プレースに水をかけて消火してください。

○消火を確実に済ませた燃え残りや灰は、ゴミステーション横の灰置き場にあるペール缶に入れてください。

必要な十能、ほうき、ちりとりはゴミステーション後ろにあります。

○燃えかすや灰を入れたペール缶は、灰置き場に置いてください。

必要があるときは再度ここで水をかけて消火を徹底してください。

○トーチに使ったトーチ棒も消火した後、灰置き場にかためて置いて下さい。

活動終了後はセンター職員が消火確認を行いますので、必ず責任者はファイヤー終了後に管理棟(本館)事務室へ報告してください。

※灰の片づけは翌日でも構いません。火は終了後、必ず水をかけて消火してください。



D. 施設について (1)いえしま自然体験センター全体図

②分岐点付近の施設と看板類

①いえしま自然体験センター棧橋



↑バイオトイレ



↑分岐点



↑分岐点にある行き先看板

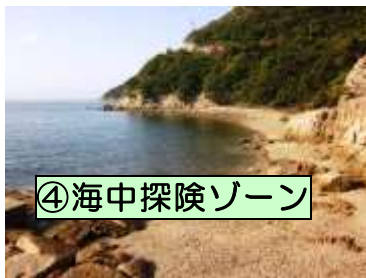


③中央地区入り口付



創作活動地区

創作活動地区の風景



④海中探険ゾーン



⑤艇庫前から浜を望む



オオヤケ島

小豆島

⑥分岐点より中央地区を眼下に小豆島を望む



⑦芝生広場を望む



⑧野外活動地区の(立舞)浜を望む

(2)中央地区平面図



環境学習センター



ボランティアリーダー棟



Bロッジの外観↑と内部↓



海中探検ゾーン

海中探検ゾーン



野外炊飯場



艇庫



養殖体験ゾーン



Cロッジ(長屋タイプ)



中央管理棟(中央奥)と食堂(右側)



シャワー・更衣室



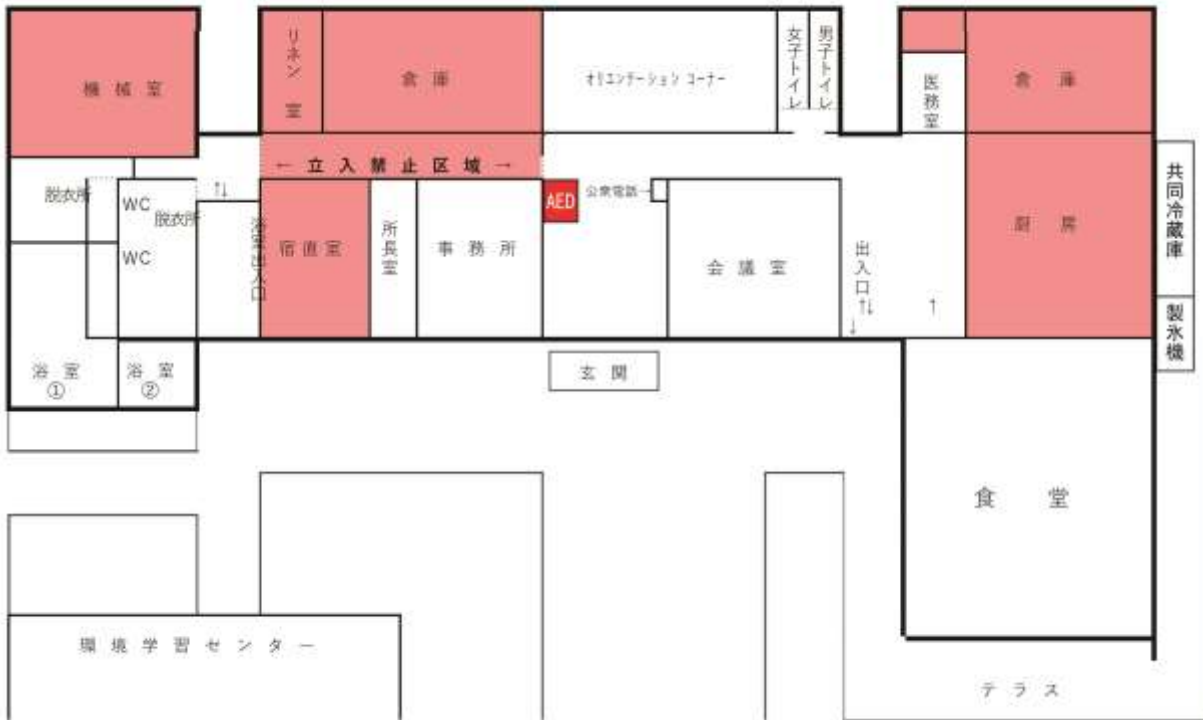
ロッジ内の洗面台(左)とトイレ(右)



(3) 平面図と設備

中央地区

中央地区平面図



ロッジ平面図

☆Aロッジ(10人用×7棟)1棟55㎡

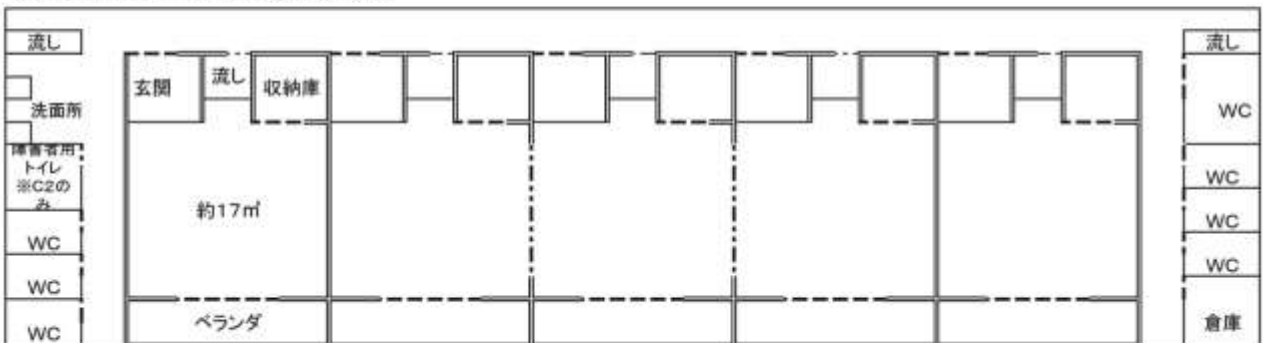


☆Bロッジ(6人用×7棟)1棟32㎡



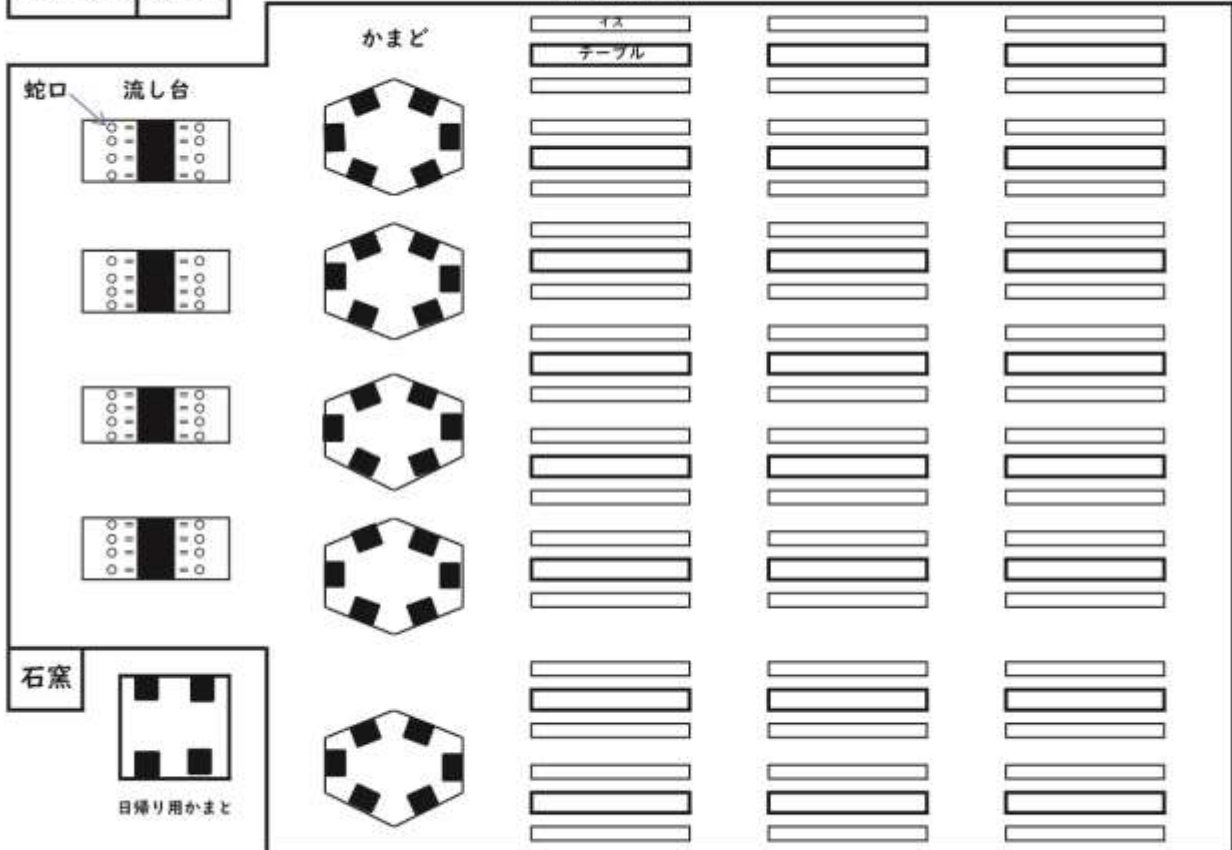
- ※ロッジに備え付けているもの
- ・冷蔵庫 ・マット ・毛布 ・枕 ・安全蚊取り器
 - ・非常灯 ・掃除機 ・ほうき ・ちりとり
 - ・簡易ベッド(A・Bロッジのみ)
 - ・茶器セット
 - 《夏季》・扇風機
 - 《冬季》・ファンヒーター ・こたつ(Aロッジのみ)
- ※A・Cロッジの
はずして利用されは、取り外すことができます
元に戻してください
- ※C-2ロッジには身障者用トイレを備えています
- ※各ロッジのインターホンは事務所とつながっています
緊急の場合のみお使いください

☆Cロッジ(7人用×5室×3棟)1棟140㎡

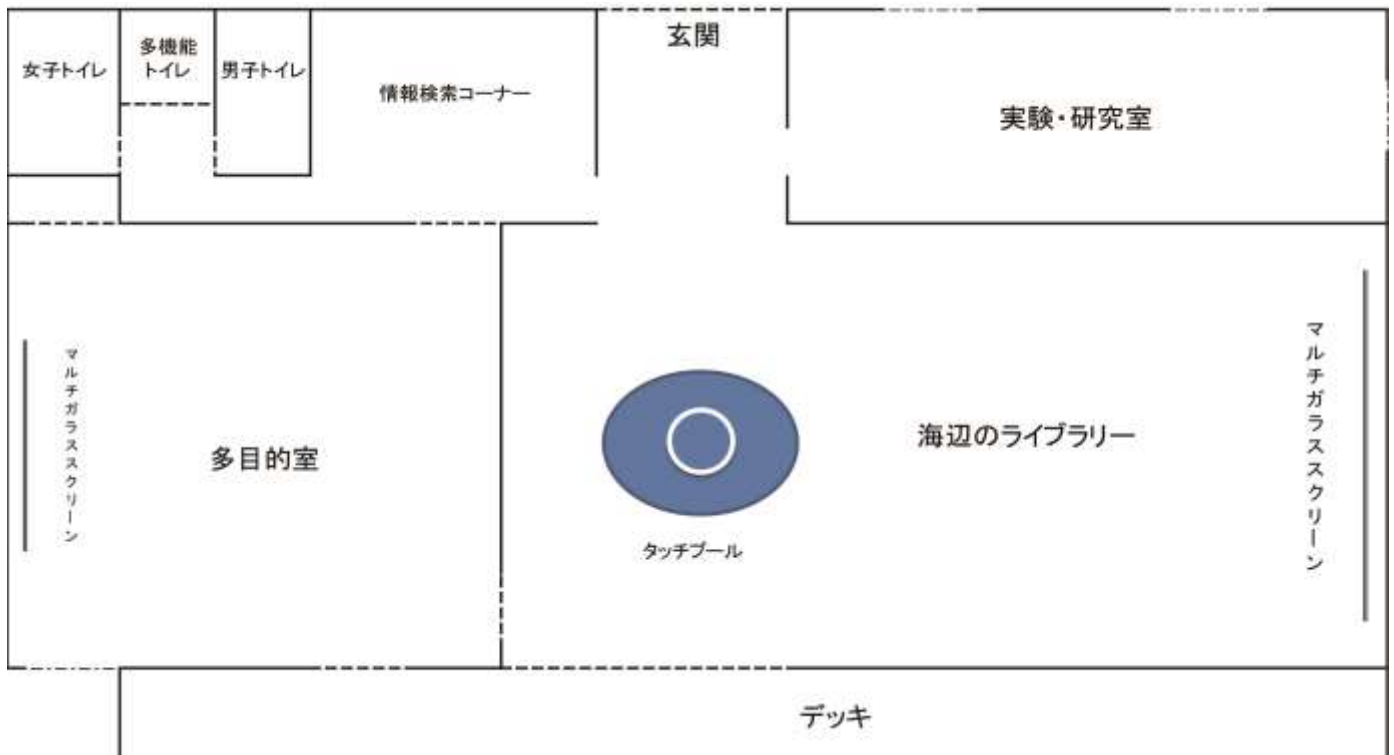


ゴミステーション 道具置き場

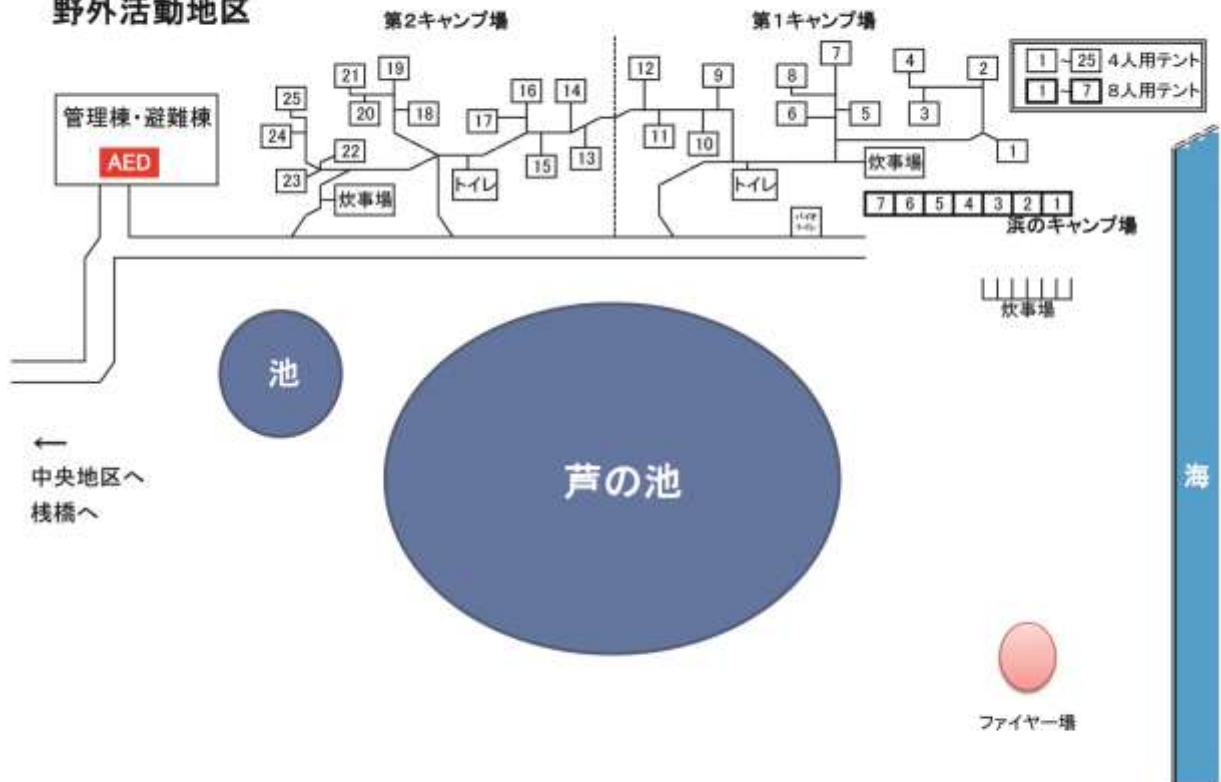
野外炊事場



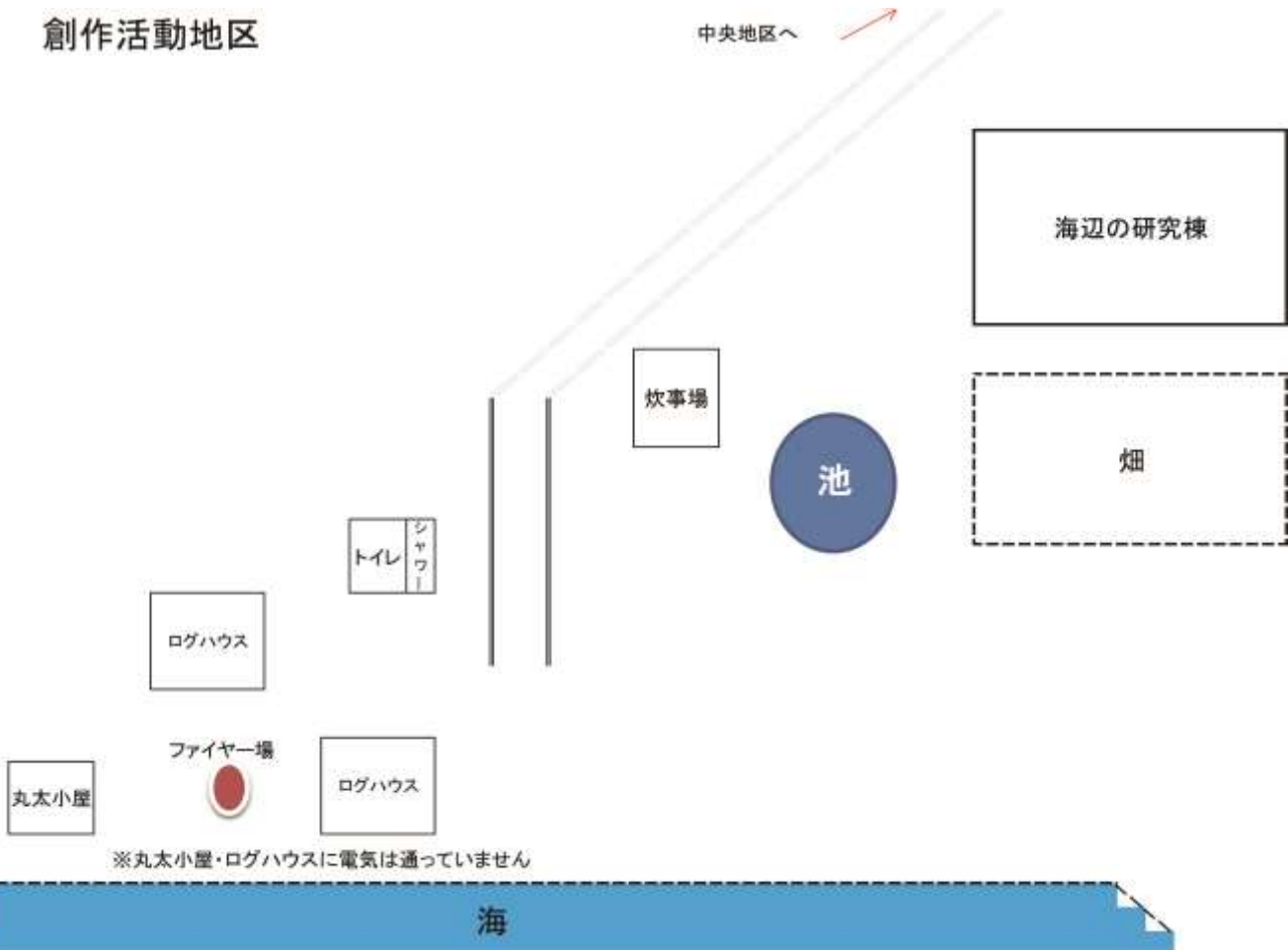
環境学習センター



野外活動地区



創作活動地区



E. いえしま自然体験センターへの交通案内

1 姫路港までの交通機関等

○電車・バス

JR 姫路駅で下車 北口へ出て、神姫バス①番乗り場「姫路港行き」約20分
山陽電車飾磨駅下車徒歩5分、飾磨工業高校前から神姫バス「姫路港行き」約10分
(神姫バス「姫路港行き」は20～30分間隔で運行しています。)

○車

姫路バイパス「中地ランプ」から南へ約10分。姫路港周辺の駐車場(裏面記載)に駐車願います。(車は「いえしま自然体験センター」に渡れません。)

2 姫路港からの交通機関(連絡船)

令和2年4月1日より 連絡船が変更になりました。

「いえしま自然体験センター～坊勢(ぼうぜ)」間の連絡船は、予約時のみの運行となります。事前(遅くとも前日の午前中)に「いえしま自然体験センター」まで乗船時間をご連絡ください。

当施設より船会社に船便の予約をします。乗り遅れた場合等は改めてその旨をご連絡ください。

その他 連絡船に関するお問い合わせは船会社へお問い合わせください。

※ 下記以外の時刻にも姫路～坊勢島間は運行していますが、いえしま自然体験センターまで起こしになる場合は下記の時刻になります。

坊勢島にて乗り換えになります。ご注意ください。

ご不明な点は、船員にお尋ねください。

3 切符について

姫路港→坊勢島間は、『坊勢輝汽船株式会社』・坊勢島→いえしま自然体験センター間は『輝観光』が運行

- ① 姫路港ポートセンタービルの中にある**坊勢輝汽船**の券売機で坊勢島行きの切符を購入。
- ② 隣にある**輝観光**の券売機でいえしま自然体験センター行の切符を購入。

【定期連絡船時刻表】

坊勢輝汽船株式会社 本社 (079-234-1138) 坊勢営業所 (079-326-0160)

※往路(姫路港→いえしま自然体験センター)

※復路(いえしま自然体験センター→姫路港)

便	姫路港発	坊勢着	坊勢発	棧橋着
1	7:30	8:05	8:15	8:20
2	10:05	10:40	10:50	11:00
3	11:35	12:07	12:17	12:27
4	13:05	13:37	13:47	13:57
5	14:30	15:02	15:12	15:17
6	16:05	16:40	16:45	16:50

便	棧橋発	—	坊勢発	姫路着
1	8:30	—	8:55	9:27
2	11:30	—	11:50	12:25
3	13:00	—	13:25	13:57
4	14:20	—	14:44	15:16
5	15:30	—	15:50	16:22
6	16:55	—	17:15	17:50

【船賃】

区分	片道	往復	備考
姫路港⇄坊勢島まで 大人(中学生以上)	1,000円	2,000円	幼児は大人1人に対して1人は無料 大人1人につき1人を超える同伴 未就学児(1歳未満を除く)
小人(小学生)	500円	1,000円	
坊勢島⇄いえしま自然体験センター 大人	500円	1,000円	
小人	250円	500円	

4月1日(水)より手荷物にも運賃必要です 以下有料です

カート等は荷物がなくてもケラ-BOX等は中身が空でも運賃が必要です



- 【ご注意】
- ・自転車は小人用、大人用、電動75cc以上、折畳み自転車等全て一律料金です
 - ・釣りの方はカ-トの持ち込みがなくても、竿、ケース、ケラ-BOX等のセットまたは単品でも料金がかかります
 - ・ペット(小動物)は布製のバッグなどに入れている場合でも頭や足が出ているものは有料です

以下の手荷物は運賃かかりません

ただしお一人につき合わせて2個までです



- 【ご注意】
- 缶ビール、ジュース等もお一人2ケースまで2個以上の荷物をひもなどでくくっても1個扱いとはなりません
 - ショッピングバッグ(大)お一人2個までこれ以上は運賃がかかります
- 荷物置場が限られた小型船です。皆様のご協力でご乗船を少なくするようにご協力ください。数量が多すぎると係員が判断した場合は、有料でも積み込みをお断りする場合があります。
- 【お願い】運賃の有無、金額設定については乗船口にて荷物のサイズ、重量を計るのは時間的にも又、その作業にかかる人手も足りませんので係員、船員の判断になります。ことをご承知おき下さい。

※料金などについては坊勢輝汽船へお問い合わせください。 坊勢輝汽船 TEL (079) 234-1138

※団体・グループでお越しの際には姫路ポートセンター内の坊勢輝汽船の事務所にて団体券の購入ができます。団体料金の割引はございません。(注)全員が同じ船便に乗船することが必要です。

【チャーター船利用】

人数次第ではチャーター船利用の方がお得で便利です。詳細は下記船会社にお問い合わせください。

坊勢渡船	(079)326-0559	高福ライナー	(079)325-1970
輝観光	(079)325-0444	坊勢輝汽船	(079)234-1138

姫路港以外からも発着可能です。

4 船便のご利用についての注意

■手続き

○船便の日時が決まりましたら、センターへご連絡ください。

○団体が使う資材の船への持ち込む量は常識の範囲内でお願いします。

■乗船及び下船

○乗船時間の20分前までに団体担当者は、利用する船会社の窓口にて受付してください。道路渋滞や事故により出港時間に間に合わないと予想される場合、すみやかに定期船の場合はセンターへ、チャーター船の場合は船会社へ連絡をしてください。船会社と確認した変更の内容をセンターへお知らせください。

○参加者の乗船、下船の安全について学校側が最大限の注意を払うようにしてください。

○団体資材の船への積み降ろしは、速やかに終わることができるよう協力してください。

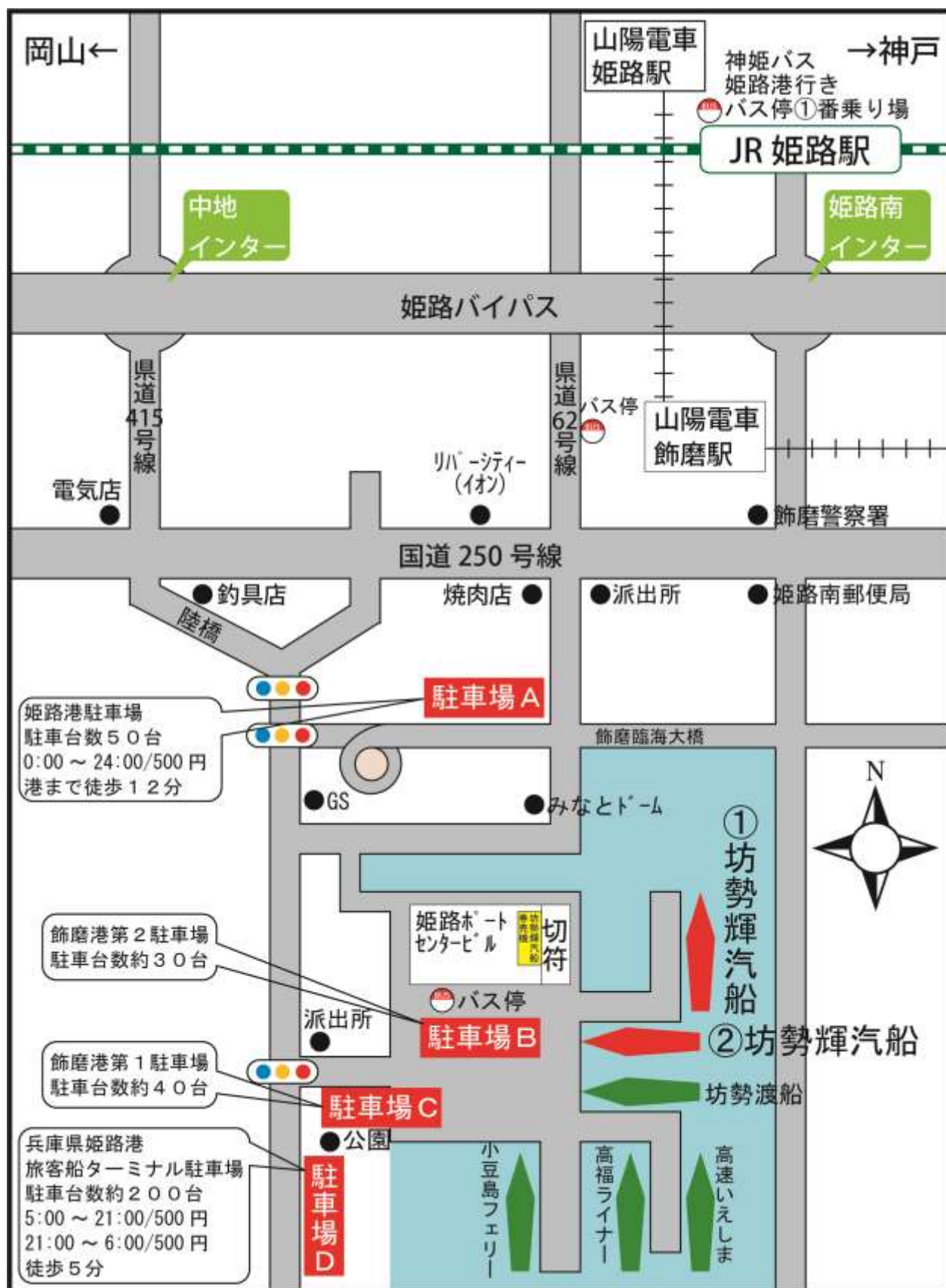
■センター桟橋での待機について

○センター桟橋付近での集合、待機は各団体が責任をもって安全管理を行ってください。

○センター桟橋付近の海岸線で遊び、靴などが汚れたまま船に乗船して困る、という苦情が船会社から寄せられています。「公共のマナー」を各団体でもご指導ください。

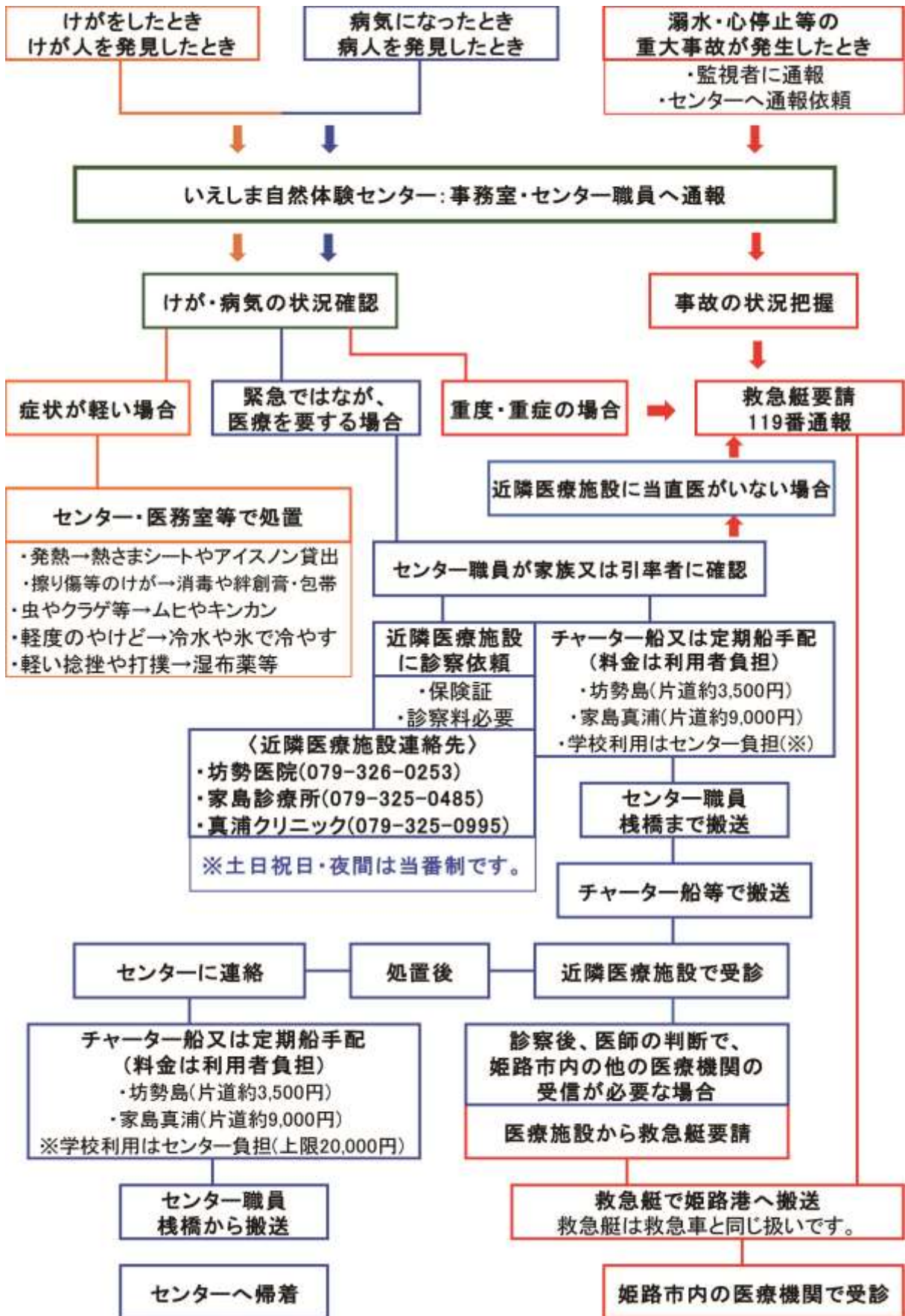
(5) 姫路港付近の駐車関係略図

- 個人用乗用車を姫路港付近で駐車される場合には、地図を参考にして駐車してください。
- 夏季の土日は付近駐車場が満車になることもあります。余裕をもってお越しください。



F. 健康・安全について

(1) いえしま自然体験センター「けが・病気・事故」発生時の対応マニュアル



当センターは「兵庫県南部ドクターヘリ臨時発着場」に指定されています。

(2)救急医療関連 連絡先一覧

会社／機関	名称	住所／診察時間	電話番号
家島町 医療機関 ※宿直医 土日祝の 宿直医は 当番制で 月ごとに 変わります。 ※夜間診療 が出来ない 場合があります。その 場合は姫路 市医療機関 へ救急艇搬 送となります。	ぼうぜ医院	姫路市家島町坊勢702-238 【診察時間】 9:00～12:00／15:00～17:00 ※受付は終了30分前まで ※木曜・土曜の午後、祝祭日は休診	079-326-0253
	家島診療所	姫路市家島町宮2169 【診察時間】 9:00～12:00／14:00～17:00 姫路市家島町宮2169 ※受付は終了1時間前まで ※土曜・祝祭日は休診	079-325-0485
	真浦クリニック	姫路市家島町真浦字片山2379-1 【診察時間】 月～金曜日 9:00～12:00／14:30～17:30 土曜日 9:30～12:00 ※木曜午後の第2・4週は休診	079-325-0995 受付 7:55～11:45 ／13:55～17:15
姫路市 医療機関	新日鐵広畑病院	姫路市広畑夢前3-1	079-236-1038
	姫路医療センター	姫路市本町68	079-225-3211
	姫路赤十字病院	姫路市下手野1-21-1	079-294-2251
	神野病院	姫路市飾磨区下野田2丁目533-3	079-235-5501
	姫路中央病院	姫路市飾磨区三宅2-36	079-235-7331
救急艇	消防		119
渡船会社 (海上タクシー)	坊勢渡船	姫路市家島町坊勢	079-326-0559

【渡船代】

	坊勢まで(片道)	家島本島まで(片道)	姫路(相生)港まで
いえしま自然体験 センター棧橋から	約¥3,400円	約¥9,000円	約¥20,000円

※上記の金額は、料金目安です。消費税別。詳しくは各船会社にお問い合わせください。

※22時以降は割増料金となります。23時以降は緊急な処置を必要とする場合のみ利用可能。

※救急時の渡船代は学校利用に限り、1回の利用期間中の合計額20,000円を上限として当施設が負担いたします。上限額を超えた場合は学校負担となります。

(3)地震・津波発生時の避難マニュアル

地震・津波から身を守るために

◇揺れを感じたら、**建物の中**や**そばから離れて**、**広い所へ避難**し、**芝生広場**に**集合**しましょう。

◇地震が発生すると「いえしま自然体験センター」全体に**非常放送**をします。

◇津波警報や注意報が発令されたときは、**放送**をよく**聞いて**

下記の避難場所へ落ちて**避難**してください。

げんざいち 現在地（いまいるところ）	ひなんばしょ 避難場所（にげるところ）	ちすじょうばんごう 地図上番号
ちゅうおうちく（ろっじちく） 中央地区（ロッジ地区）	ちゅうおうかんりとう しょくどう 中央管理棟の食堂	①
やがいかつどうちく（てんとちく） 野外活動地区（テント地区）	ひなんかんりとう 避難管理棟	②
そうさくかつどうちく 創作活動地区	うみへ けんきゅうとう 海辺の研究棟	③



※当センターでは地震・津波等の情報をキャッチする警報装置システムを導入しています。大きな地震が発生した場合、緊急放送を行います。

*緊急の避難を要する場合

日中：緊急放送にて避難指示を行うとともに、職員が誘導いたします。

夜間：緊急放送を行うと共に担当の先生のロッジに職員が伺い、素早く児童・生徒を起床させ避難誘導を行います。

避難はセンター職員の指示に従い、迅速に人数確認を行うと共に安全確保にご協力ください。